

令和2年度 自己評価結果とりまとめ

1, 評価項目の達成および取り組み状況

つくしんぼ保育所

評価項目	取り組み状況
I、保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達に合った内容で計画を立てるよう気をつけている。 ・季節に応じ、保育所の理念に沿い自然物に子ども達が触れられるような計画を立てている。
II、保育のあり方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の性格を受け入れ、子ども達に合った保育を行うようにし、困り感が出来るだけ解消されて過ごせるように努めている。 ・子どもとのトラブルがあった場合、必要に応じて保育者が仲裁に入り、解決させている。
III、保育者としての資質や力・良識・適正	<ul style="list-style-type: none"> ・他の意見を受け入れ、保育に活かせるように努めている。 ・自分に与えられた仕事だけでなく、園全体の事に対して気づきを増やす。
IV、保護者への対応・守秘義務	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者がお迎えの際には一日の様子や出来事を話し保護者に心配事が無いようにする。
V、地域の自然や社会とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスの影響で地域との交流の機会がなかなかないが、高齢者施設の方たちとプレゼントだけでの交流を考える。 ・近隣を散歩して自然との触れ合いを大切にする。
VI、保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の受け持つクラスだけでなく、他のクラスの保護者とも自分の見た子どもの様子を伝え会話する。 ・コロナで研修等がない分、自分で保育に関する書籍などを読む。
VII、保育のあり方、3歳未満児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が元気に過ごせているか朝の視診をしっかりと行い、体調が悪い子どもにすぐに気づき対応できるようにしている。 ・子どもの思いを受け止め出来ないところは一緒に手を添えて援助し、達成感を持てるようにする。
VIII、地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外へ出掛け、地域の方と会ったら保育士が積極的に挨拶し子ども達も挨拶しやすい雰囲気を作る。 ・ほっとステーションでの親子イベントを月3回程行っている。（緊急事態宣言の為、R2年4月～6月までは中止）
IX、食育の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー除去がある子どもは年度初めに保護者に検査に連れて行ってもらう、給食室とその子どもの担任、他クラスの保育士とも共有し周知する。また、解除の結果も同じくその日のうちに周知する。 ・園庭で野菜を苗から育て収穫を喜び、季節の食材に触れて、食を身近に感じる。

2, これから改善したいこと

つくしんぼ保育所

評価項目	具体的な取り組み
I、保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> ・室内でも体を動かすことを増やし、体力をつけていく様にする。 ・月案、個別計画の作成において、1人ひとりの発達や成長をより見極めて実践できる計画を作成していきたい。 ・指導計画を具体的に計画し、見直しを持って準備など進められるようにする。 ・子どもたちの発達に応じた内容に加え、年齢に応じた内容を取り入れ作成している。 ・保育の計画性について意識して取り組んでいるが、まだまだ学習の改善の余地があると感じる。
II、保育のあり方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの姿や思いを受け止め1人ひとりに合った対応や関わりを心がけた。 <p>又、個別配慮を要する子どもにも保育者間で話し合い、共通の認識で関わるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学に向けて自分で出来ることを増やしていき、必要なことは自分から保護者に言えるように繰り返し伝える。 ・子どもの気持ちに寄り添い、受け止め、より良い関係を築けるよう努力した。
III、保育者としての資質や力・良識・適正	<ul style="list-style-type: none"> ・専門知識や技能について、もっと自己研鑽に励みたい。 ・他保育士と連携し共通認識を持って保育に取り組む。 ・子どもの対応など解らないことを他の保育士から学ぶ。
IV、保護者への対応・守秘義務	<ul style="list-style-type: none"> ・担任している子どもの保護者だけでなく、他のクラスの保護者ともコミュニケーションを取っていく。 ・帳面だけで無く、できるだけ声をかけ、子どもの様子を伝えたりしながら信頼関係を築き、家庭との協力体制をとれるようにしていきたい。
V、地域の自然や社会とのかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染拡大防止の為、地域との関わりが少なかったが高齢者施設の方へプレゼントを渡して交流し合うのは続けていきたい。 ・地域の方への挨拶を行い子ども達にも日頃より挨拶の大切さを伝える取り組みを行う。 ・年間を通して近くの公園や農道などへ行き、季節の植物を教えたり、自然の生き物を観察したり触れたりする機会を作っていきたい。
VI、保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で例年より少なかった分、自分なりに学んだり、Zoom研修に参加する。 ・参加できる研修には積極的に参加し、知識を身に付けていく。 ・保育をしていく上で必要な保育の方法に関心を持ち、研究し勉強していく。 ・専門性を高めるため、様々な媒体から情報を集め、日々の保育に活かせるように取り組んでいる。
VII、保育のあり方、3歳未満児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちに寄り添った保育の中での言葉掛けや雰囲気作りをもっと勉強していきたい。 ・子ども自身の家庭環境や背景に配慮をして個別に応じた対応をしていきたい。 ・発達過程や年齢により、一人ひとり出来ることが違うので必要に応じて援助していく。
VIII、地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・一時保育などを通して関わっていきたい。 ・地域との関わりは少なかったが、公園で会った時には挨拶をすることからしていく。
IX、食育の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・調理保育は出来なかったが、夏野菜や冬野菜を今後も育てていきたい。 ・苦手な食べ物のある子に対し、無理にではなく、自分から一口食べてみたいと思わせるように関わっていきたい。 ・季節の食べ物について話した上で食べ、味わう取り組みを行う。 ・正しい姿勢、お箸、スプーンの扱い方に気をつけダラダラ食べるのではなく集中して食べることを伝えていく。